

ウィークリーレポート

2018年3月26日

2018年3月26日号

■ 主要指標の動き

	先週末	騰落率				
		3/23	1週間	1カ月	3カ月	
株式関連	日経平均株価	20,617.86	▲4.88%	▲5.82%	▲9.98%	
	TOPIX	1,664.94	▲4.13%	▲5.43%	▲8.97%	
	JPX日経インデックス400	14,722.22	▲4.15%	▲5.23%	▲9.09%	
	NYダウ(米)	23,533.20	▲5.67%	▲7.02%	▲4.93%	
	S&P500(米)	2,588.26	▲5.95%	▲5.79%	▲3.54%	
	FTSE100(英)	6,921.94	▲3.38%	▲4.45%	▲8.83%	
	DAX(ドイツ)	11,886.31	▲4.06%	▲4.79%	▲9.08%	
	香港 ハンセンH株	12,128.27	▲4.30%	▲4.76%	4.08%	
	中国 上海総合	3,152.76	▲3.58%	▲4.14%	▲4.38%	
	インド ムンバイSENSEX	32,596.54	▲1.75%	▲4.53%	▲3.96%	
	ブラジル ポベスバ	84,377.20	▲0.60%	▲3.34%	12.22%	
	債券関連	日本10年国債利回り	0.020%	▲0.015	▲0.025	▲0.030
		米国10年国債利回り	2.814%	▲0.031	▲0.053	0.333
ドイツ10年国債利回り		0.527%	▲0.044	▲0.126	0.107	
米国ハイイールド債券		381.57	▲0.33%	▲0.42%	▲1.04%	
その他		東証REIT指数	1,675.49	▲1.18%	▲1.94%	0.83%
	S&P先進国REIT指数	238.28	▲3.23%	▲2.07%	▲9.15%	
	S&P香港REIT指数	393.85	▲1.25%	2.96%	▲4.37%	
	S&PシンガポールREIT指数	336.68	▲0.89%	1.58%	▲1.80%	
	ブルームバーグ商品指数	87.44	0.09%	▲1.41%	1.98%	
	NY金先物	1,355.70	3.31%	1.91%	6.01%	
	アレリアンMLPインデックス	1,079.23	▲5.52%	▲10.05%	▲11.14%	

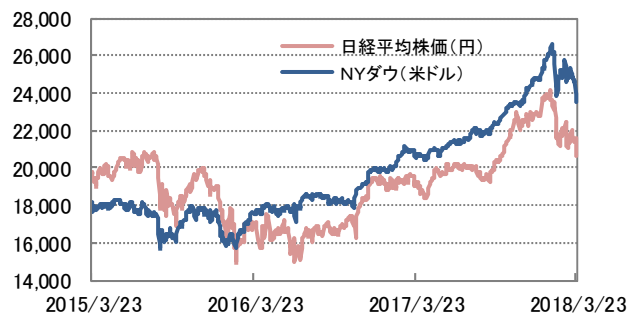
	先週末	変化率		
		3/23	1週間	1カ月
米ドル	104.93	▲1.27%	▲1.94%	▲7.48%
ユーロ	129.47	▲1.02%	▲1.82%	▲3.64%
英ポンド	148.18	0.11%	▲0.80%	▲2.35%
豪ドル	80.85	▲2.26%	▲3.64%	▲7.48%
カナダ・ドル	81.26	▲0.14%	▲3.43%	▲8.66%
ノルウェー・クローネ	13.58	▲1.38%	▲0.29%	0.30%
ブラジル・リアル	31.64	▲2.19%	▲3.80%	▲7.73%
香港ドル	13.37	▲1.33%	▲2.27%	▲7.79%
シンガポール・ドル	79.80	▲1.26%	▲1.66%	▲5.37%
中国・人民元	16.56	▲1.55%	▲1.66%	▲3.89%
インド・ルピー	1.62	▲1.82%	▲2.41%	▲9.50%
インドネシア・ルピア	0.77	▲1.28%	▲2.53%	▲8.33%
トルコ・リラ	26.40	▲3.19%	▲6.65%	▲11.05%
南アフリカ・ランド	8.86	▲0.89%	▲3.49%	▲0.23%
メキシコ・ペソ	5.63	▲1.05%	▲2.09%	▲3.43%

※債券の騰落率は利回りの変化幅  
 ※米国ハイイールド債券はICE BofAメリルリンチ・US・ハイイールド・BB-B・インデックス  
 ※東証REIT指数は配当なし  
 ※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし  
 ※S&P香港REIT指数、S&PシンガポールREIT指数は米ドルベース、配当なし  
 ※NY金先物は1トロイオンス当たりの米ドル建価格  
 ※アレリアンMLPインデックスは米ドルベース、配当込み  
 ※インドネシア・ルピアは100通貨単位での表示

■ 株式市場

日経平均株価は大幅反落。安倍政権の支持率低下を受けて週初から売りが先行した。週末は米国株式の急落や円高・米ドル安の進行でリスク回避機運が高まり、幅広い銘柄が売られた。NYダウは大幅続落。米政権が知的財産権侵害を理由に中国製品に対する高関税を課す制裁措置を正式に表明したことで、米中の貿易摩擦が激化すると警戒感が高まった。中国による対抗措置が懸念される中国向けの受注残が大きい企業などへの売りが下げを主導した。

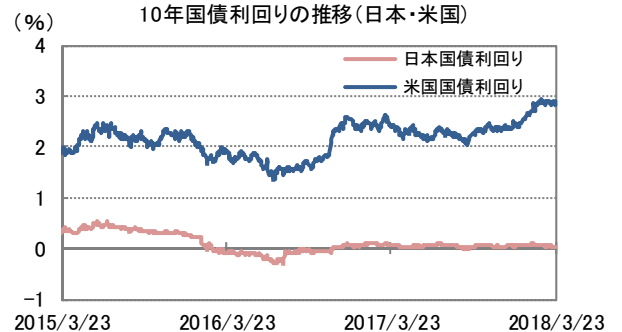
日経平均株価とNYダウの推移



■ 債券市場

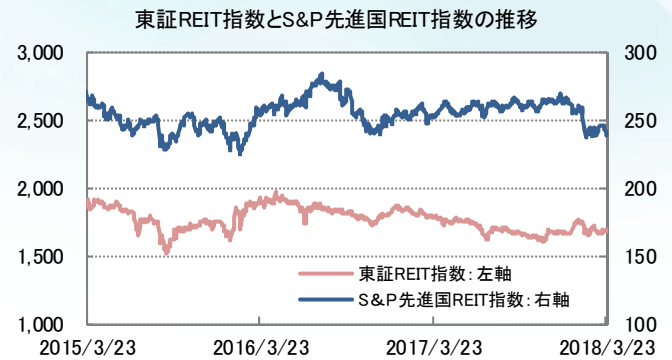
日本10年国債利回りは低下(価格は上昇)、2017年11月以来の低水準をつけた。米国10年国債利回りは低下(価格は上昇)。FOMC(米連邦公開市場委員会)後に発表されたFRB(米連邦準備理事会)の政策金利見通しから、先行きの利上げペース加速に対する警戒感が一服した。また米中の貿易摩擦が激化すると警戒感の高まりや米国株式の急落を受けて、リスク回避目的の米国国債買いが強まった。

10年国債利回りの推移(日本・米国)



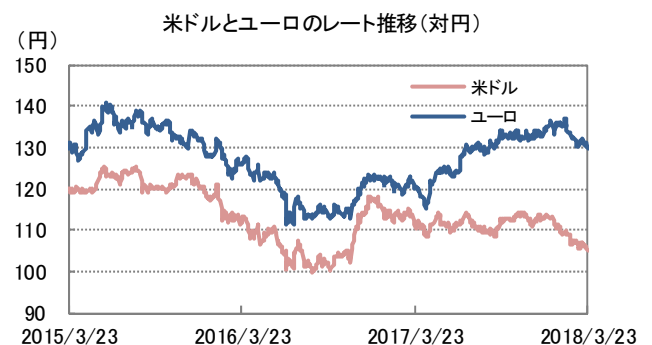
## ■その他の資産

国内REIT市場は2週ぶりに下落。  
海外REIT市場は3週ぶりに下落。  
原油先物市場(WTI)は上昇。米国の原油在庫減少や中東情勢の不透明感を背景に需給改善期待が高まった。  
金先物は上昇。米中の貿易摩擦が激化すると警戒感が高まり、リスク回避目的の買いが強まった。



## ■外国為替市場

米ドル/円は下落、2016年11月以来となる104円台をつけた。米中の貿易摩擦が激化すると警戒感の高まりや日米の株式市場の急落を受けて、低リスク通貨とされる円への買いが強まった。週末の海外市場でも円買いの動きが優勢となった。トランプ米大統領が22日に対外強硬派とされるボルトン元国連大使を大統領補佐官に起用すると決めたことも、リスク回避機運を強めた。ユーロ/円も下落。3月のドイツやユーロ圏の企業景況感指標の悪化がユーロの重石となった。



## ■主要経済指標

### 【国内】

貿易統計(2月)・・・輸出は前年同月比+1.8%、春節休暇の影響で中国向けの伸びが鈍化。輸入は同+16.5%。  
全国消費者物価指数(2月)・・・生鮮食品を除くコア指数は前年同月比+1.0%、14カ月連続で上昇。

### 【海外】

#### <米国>

中古住宅販売件数(2月)・・・前月比+3.0%の年率換算554万戸、3カ月ぶりの増加。  
新築住宅販売件数(2月)・・・前月比▲0.6%の年率換算61.8万戸、3カ月連続の減少。

#### <欧州>

ユーロ圏総合PMI(購買担当者指数)(3月)・・・前月から▲1.8ポイントの55.3、1年2カ月ぶりの低水準。

## ■今週の焦点

### 【国内】

3月30日に2月の鉱工業生産指数が発表されます。

### 【海外】

米国では3月27日に3月の消費者信頼感指数(コンファレンス・ボード調べ)、29日に2月の個人消費支出デフレーターが発表されます。

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

## [投資に関する留意事項]

### ◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債など値動きのある有価証券等を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

### ◎投資信託に係る費用について

投資信託にご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

1. 購入時に直接ご負担いただく費用 (1) 購入時手数料 上限 3.78%(税込) (2) 信託財産留保額 上限 0.1%

2. 換金時に直接ご負担いただく費用 (1) 信託財産留保額 上限 0.5%

3. 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 (1) 信託報酬 上限年率 2.052%(税込、概算)

※ファンド・オブ・ファンズ形式の場合は、一部を除き、投資信託が投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。

※一部の投資信託および投資信託証券には運用実績等に基づき計算される成功報酬額が別途かかる場合があります。この場合、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合がありますが、成功報酬額は運用実績等により変動するため、上限額等を事前に表示することができません。

4. その他費用 (1) 上記以外に投資信託の保有期間等に応じてご負担いただく費用(\*)があります。これらの費用は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等を事前に表示することができません。

(\*) 監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資信託証券の解約に伴う信託財産留保額、および投資信託が実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等

上記の費用の合計額については、お客様が投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に表示することができません。

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友トラスト・アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率(作成日現在)を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

### ◆設定・運用は



商号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

### 【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。